

海と気候変動

～海が異常気象を引き起こす？～

「海水温が高く、台風の発達に影響した」
そんな言葉があるように、
海洋と気象は互いに影響を与えています。

将来、大雨の回数は増え、台風など
熱帯低気圧の強さは増す可能性がある
と言われるなか、

変わりゆく気候に備えるために
海の変化や防災について
学んでみませんか？

日時 令和2年 **2月1日（土）**

14：00～16：00（開場13：30）

会場 **一橋講堂**

東京メトロ竹橋駅・神保町駅
徒歩5分

定員 **300名**

参加費無料・事前申込制（先着順）



講演① **海と気象**

東北大学大学院理学研究科 准教授 **杉本周作 氏**



講演② **気候危機と防災**

気象キャスター **蓬萊大介 氏**

講演内容は裏面へ⇒

～お申込み～

下記①～③についてメールに明記の上、宛先までお知らせください。

①代表者のお名前 ②参加人数 ③連絡の取れるメールアドレス

宛先：kikou-kouenkai@met.kishou.go.jp



QRコードから宛先を
取得できます。

- 主催：気象庁・（一財）日本気象協会・（一財）気象業務支援センター
- 後援：文部科学省・環境省・地球ウォッチャーズ－気象友の会－
- ホームページ：https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/climate_lecture/

～講演会概要～

講演① 海と気象

海洋と気象の関係、海洋が台風といった気象に与える影響について解説します。
さらに、IPCC（気候変動に関する政府間パネル）が公表した「海洋・雪氷圏特別報告書」より海洋の現状や今後起こりうる海洋の変化など、“海洋”にまつわる最新の研究を紹介します。

杉本周作 氏

東北大学大学院理学研究科 准教授。東北大学理学部宇宙地球物理学科卒業。2007年理学博士取得。
2019年1月より現職。大気海洋相互作用や気候変動を専門に研究。

講演② 気候危機と防災

2018年大阪を襲った台風第21号の映像を見ながら、危険度分布やハザードマップなどの防災情報の見方も含め、“防災”についてお話しします。
また、気象キャスターの視点から、“気候危機”というキーワードで気候変動についてお伝えします。その他、気象キャスターの裏側の話も。

蓬萊大介 氏

株式会社ハウライズオフィス代表取締役。早稲田大学政治経済学部卒業。2009年気象予報士取得。
2013年より気象キャスターとして活動。読売テレビ系列「情報ライブ ミヤネ屋」に出演。

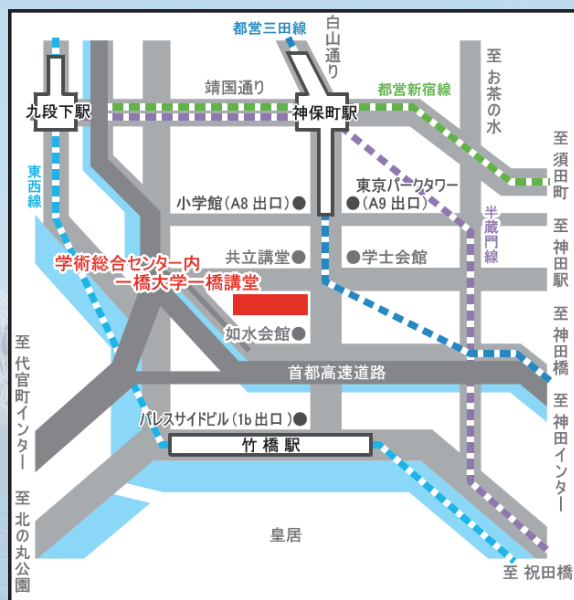
～会場へのアクセス～

〒101-8439

東京都千代田区一ツ橋2-1-2
学術総合センター内 一橋講堂

○竹橋駅 1b出口 徒歩5分
東京メトロ東西線

○神保町駅 A8・A9出口 徒歩5分
東京メトロ半蔵門線
都営三田線
都営新宿線



～お問い合わせ先～

気象庁 地球環境・海洋部 地球環境業務課
電話：03-3212-8341（内線5168・4225）
メール：kikou-kouenkai@met.kishou.go.jp